

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2022年8月15日

(案件名)モンゴル国ゾド対策(気候変動適応策)及びレジリエンス構築プロジェクトに係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式))
(公示日:2022年8月3日/調達管理番号:22a00313)について、質問と回答は以下の通りです。

| 通番号 | 当該頁項目 | 質問 | 回答 |
|-----|--|---|---|
| 1 | 入札説明書 P11 第4条 調査実施の留意事項 (4) | (8月3日の入札説明書の差し替え部分の補足) | 「JICA 関連調査への協力実績あるモンゴルにおけるローカルコンサルタント会社」の記載につき、不適切な内容がありましたため、修正しました。 |
| 2 | 入札説明書 P.16 第2章 特記仕様書 第6条 報告書等 | 「①業務完了報告書」について、「和文2部、英文2部、モンゴル語2部」と記載されていますが、「製本版(電子データ)にて提出」などの形式の指定がございません。これらは製本版での提出が必要でしょうか。 | 業務完了報告書の製本版に関し、和文2部、英文2部、モンゴル語3部の提出をお願い致します。電子データについては、CD-ROM1枚(和文、英文、モンゴル語のデータを含む)の提出をお願い致します。 |
| 3 | 入札説明書 P.27 第3章 技術提案書作成要領 4. 経費積算に係る留意事項 (2)定額計上について | 定額計上の表内 No.1に記載の「①事業の課題設定、有効性・持続性をレビューするための前提条件に係る情報収集、②食品安全性の高い畜産物の生産と流通改善に係る市場調査」について、説明書 P.12 脚注の「ゴビアルタイ県に関し、(中略)現地コンサルタントへの再委託を可とする。」という記載から、ゴビアルタイ県での調査費用については定額計上の再委託費(1,600,000円)に含まれると理解しています | 定額計上の再委託費(160万円)に両県(ゴビアルタイ県、ドンドゴビ県)の調査費用が含まれています。 |

| | | | |
|---|--|--|--|
| | | が、ドンドゴビ県での調査費用についても上記再委託費に含まれるでしょうか。 | |
| 4 | 入札説明書 P.12 第2章 特記仕様書 第5条 調査の内容 (2)現地(モンゴル)業務 【各課題への対応】① | 候補2県のそれぞれ2ソム(合計4ソム)について、候補となっているソムはあるでしょうか。それとも、受注者が任意に選定することになりますか。 | 候補となっているソムはありません。現地の情報分析を踏まえ、受注者にて提案をお願い致します。 |
| 5 | P.12 脚注 本調査の候補地となる2県の四つのソムと首都ウランバートル市内)したいため、-中略-特に、ゴビアルタイ県に関し、首都ウランバートル市より片道1000キロ離れており、また遊牧民の居場所を事前に特定できない状況もあるため、移動時間や遊牧民の居場所探し、安全面等の観点を検討し、現地コンサルタントへの再委託を可とする。 | 左記①に関しては調査地を案件候補地の2県ゴビアルタイを、ドンドゴビと理解しました。現地調査を10-11月と検討すると、1000km離れた地域での調査は降雪後のリスクが高く、現地の日系企業でも出張を許可しないと伺いました。現地コンサルタントであれば踏査可能と判断された理由をご教示ください。 | 現地コンサルタントは気象条件や地理条件を熟知し、寒さにも慣れていること、また電話が繋がらない場合などの緊急事態への対処方法を理解していることなどを考慮し、可と判断しました。 |
| 6 | P.15 ⑥上記第2条(2)「④食品安全性の高い畜産物の生産と流通改善」 e) 上記(⑥の a~d)までの業務は現地コンサルタントへの再委託を可とし(略)。 脚注 | 再委託の内容のうち P.15 で示されている畜産物の市場調査 a)~d)は、上記 P.12 の原則を適用するとドンドゴビ県は本邦コンサルタントが、実施するということになりますか。 ただし、P.15 の脚注も短期間に利害関係者と面談するために再委託を可としており2県双方で | 第2章第5条(2)⑥の上記第2条「④食品安全性の高い畜産物の生産と流通改善」については、ドンドゴビ県とゴビアルタイ県を候補地域としており、両県で再委託を可の対象としています。当該前提に基づく提案をいただきたくよろしくお願い致します。 |

| | | | |
|---|--|--|--|
| | <p>—市場調査を行い、畜肉の物流仕組みの現状を把握したく、短期間に多数の利害関係者と面談する必要があるため、現地コンサルタントへの再委託を可とする。</p> | <p>の再委託調査を想定しているようにも考えられます。</p> | |
| 7 | <p>(5)現地再委託 P.21 (2)①事業の課題設定、有効性・持続性をレビューするための前提条件に係る情報収集(特に、ゾド発生予測情報を受信した時の遊牧民の普段の 予防行動や回避行動、被害低減行動、行政機関からの支援・介入等)及び⑥食品安全性の高い畜産物の生産と流通改善については、業務対象国・地域の現地 法人(ローカルコンサルタント等)への再委託を可とする P.27</p> | <p>P.21 では再委託の作業地域を明確化されていませんが再委託で実施する調査は2 県、2 調査(社会調査、市場調査)をカバーしていると理解できます。</p> <p>P.27 の定額計上では 160 万円となっていますが、当方が概算した限り、安全を考慮して車両費を検討すると車両費だけで、かなりの金額になるため、コンサルタントフィーの支払いが極めて限定的になり、この金額では再委託先との合意が難しいと考えました。</p> <p>可能な範囲でこの定額計上の根拠をご教示いただけますか。</p> | <p>現地の物価向上等の最新状況を考慮し、再委託に係る定額計上を以下の通り増額します。</p> <p>変更前:1,600 千円 変更後:2,000 千円</p> <p>内訳は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ガソリン 87,000 円 ➢ 旅費 1,000,000 円 ➢ 調査費+その他 913,000 円 |
| 8 | <p>13 頁 第5条(2) ①事業の課題設定、有効性・持続性をレビューするための前提条件に係る情報収集 ⑥食品安全性の高い畜産物の生</p> | <p>左記①、⑥ともに調査と検討の対象ゴビアルタイ県、ドンドゴビ県と考えてよろしいでしょうか。</p> | <p>ご理解のとおり候補2 県(ゴビアルタイ県、ドンドゴビ県)となりますが、例えば①の「政府及び地方自治体のリスク回避・低減に係る対策、政策、取組」は分野担当省庁(MOFALI やその他関係者)の一部の所在地が UB 市にあること、⑥の</p> |

| | | | |
|----|---|--|---|
| | 産と流通改善 について | | 「コールドチェーン」は主な出荷先が UB 市と考えられることから、関連情報の取得に必要な範囲で UB 首都圏内の現状を調査頂けますようお願いいたします。 |
| 9 | 15 頁 第 5 条 (2) の⑤ 「特に、システム導入対象地域がウランバートル(UB 市) 郊外の場合、UB 市へ出荷するため・・・」 について | 左記の記述は、第 4 条で候補地とされたドンドゴビ県・ゴビアルタイ県とは異なる場所のようですが、この点についてお考えをお聞かせください。もしくは、ドンドゴビ県を“UB 市郊外”と読むべきでしょうか。 | UB 市郊外は、ドンドゴビ県を指しています。 |
| 10 | 15 頁 第 5 条 (2) の⑤ 「以上を総合的に勘案したコスト・ベネフィット試算のレビュー」について | 左記に関する本調査での試算対象はとりあえず「PV 冷凍システムとその適切な稼働に必要な付帯設備」だけでよいか、またはその前後で関係する食肉処理施設や廃棄物処理施設、出荷のための梱包用設備、トレーサビリティ用設備、消耗品類などどこまでをコスト計算の対象範囲とするか、具体的なイメージがあればご教示ください。 | 試算に関し、「PV 冷凍システムとその適切な稼働に必要な付帯設備」のみでお願いします。なお、「食肉処理施設や廃棄物処理施設、出荷のための梱包用設備、トレーサビリティ用設備、消耗品類など」に関し、案件形成対象地域選定の参考情報となるため、可能な範囲で情報収集をお願いします。 |
| 11 | 15 頁 第 5 条 (2) の⑤ 「以上を総合的に勘案したコスト・ベネフィット試算のレビュー」について | (2) ①では「1 県の 2 ソムに PV 畜肉冷凍貯蔵庫」を設置するためとありますが、1 つのソムでも 1,000 世帯近くとなり、そこから 1 年に出荷される家畜数は数千～1 万頭を超える規模になると考えられます。 これに基づけば(2) ⑤におけるコスト・ベネフィット計算での対象施設の規模を 2 ソムの世帯全部とすると、極めて大規模な施設が必要になります。 これを踏まえて、(2) ⑤でのコスト等の検討 | 世帯数や家畜数等の想定(計画)はありません。維持管理の持続性を考えると、遊牧民の組合があるソムに PV 畜肉冷凍貯蔵庫を設置するのが妥当だと考えますが、そのような場合、ソムの全世帯が組合に入っているとは考えにくいので、組合の規模に沿ってコスト等を検討するのも一案だと考えます(基本的に現状・ニーズを踏まえ、「モンゴル国ゾド対策(気候変動適応策)及びレジリエンス構築にかかる調査(2020 年 12 月)」に記載されているコスト・ベネフィット試算のレビュー |

| | | | |
|----|--------------------------|--|---|
| | | を行ううえでの世帯数や家畜数など計画上の与条件についてお考えがあればお聞かせください。 | 一をして頂けますようお願いいたします)。 |
| 12 | 13頁 第5条(2)の③ タイトルについて | ③には、“上記第2条(2)「①ゾド発生予測の精度向上と運用能力の強化」、「②ゾド発生予測結果の効果的活用」の課題設定、有効性、持続性のレビューと遊牧民のゾド防災・適応能力向上のための追加対策の検討”とありますが、実際の(2)①と②とは表現が異なっているのではないのでしょうか。この箇所についてのお考えをお聞かせください。 | ご指摘の「上記第2条(2)「①ゾド発生予測の精度向上と運用能力の強化」、「②ゾド発生予測結果の効果的活用」の課題設定、有効性、持続性のレビューと遊牧民のゾド防災・適応能力向上のための追加対策の検討」は10頁の下から7行目でございます。これら過去の調査で提案された内容の課題設定、有効性、持続性のレビューをお願いします。 |

以上